

生活科学習指導案

授業者 村木 美奈

1. 日時 平成25年 6月 19日(水) 第5限
2. 学年・組 2年2組(男子13名 女子9名 計22名)
3. 単元名 「トマトの **ひみつ** み~つけた！」

4. 単元目標

りりこ(トマト)の栽培活動を中心に他の夏野菜の観察も含め、植物の成長に興味をもち、その特徴や違いに気づくことができる。また、栽培活動を楽しみ、収穫の喜びを味わうことができる。

5. 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
<ul style="list-style-type: none">・身近な野菜を育てることで、植物の成長に興味を持ち、意欲的に観察しようとする。・トマト以外の野菜にも関心を持つようとする。	<ul style="list-style-type: none">・トマトについて調べたことを工夫してまとめたり、表現したりすることができる。・調べたり、聞いたりした方法で、調理しようとする。	<ul style="list-style-type: none">・トマトの栽培を通して、植物も生命をもって成長していることに気づくことができる。・トマトの世話や学習発表を通して、自分の頑張りやよさに気づくことができる。

6. 単元について

○児童の実態

学級の子どもたちは、男女仲もよく、体育で二人組をつくって、男女のペアになっても、嫌がったり恥ずかしがったりせずに活動に取り組める。生活科の学習でグループになったり、席替えて、男の子の中に女の子が1人、またはその逆になったりしても、違和感なく班活動ができる。図工の後やみんなで体育の後片付けをする時などは、多少ふざける子がいるものの、早く終わった子から、汗だくになって掃除や片づけをしてくれる。

その反面、少しの注意や友達とのトラブルで、授業に集中できなくなったり、すねて自己否定的な発言をしてしまったりする子が目立つ。特に5月の連休が終わってからは、立ち歩く子もあり、学級全体の集中力が続かないことが多くなった。いろいろな先生方に支援に入っただき、教室内で個別に付いて見てもらっているおかげで、少しずつ落ち着いて学習できるようになってきている。学級の雰囲気としては、様々な学習には興味があり、挙手や発表も多い。

朝の会の日直の話の際には、昨日や当日の出来事に加え、独自に考えてきた〇×クイズやなぞなぞ等も上手に話せている。学級活動の時間に行った英語遊びでは、「How are you?」(元気です

か?)のチャンツにあわせて「I'm fine.」「I'm great!」「I'm good.」「I'm so so.」など簡単なフレーズをジェスチャー付きで答えるような活動も行った。1時間の授業であったが、翌日の朝の会の元気調べでためしてみると、ほとんどの子が憶えていて、すぐにできるようになった。それからは、毎朝英語で元気調べを行っている。

生き物や植物にも興味がある子が多く、教室には、常時数匹のカエルやらダンゴムシやテントウムシがいて、休憩時間のたびに触って遊んでいる。新しい生き物を捕まえに行こうとする子もたくさんいる。町探検に行った際にも、たくさんの虫を捕まえてきた。女の子でも、嫌がる子はおらず、男子と一緒にのひらにのせて可愛がって楽しんでいる。ヤモリやカニなども捕まえてきては、虫かごに入れて教室の後ろに置いて観察している。捕えてきた子たちは、「先生、ヤモリって何食べるの?」「カニに砂を入れた方がいいから、運動場で入れてきていい?」など、捕まえっぱなしではなく、きちんと世話をしようとする姿もしばしば見られる。また、「これって、何ガエル?」と聞くので、「これは全部アマガエルで、模様が違うのは、鳥なんかには食べられないように空から見えにくくするために葉っぱの多いところだと緑になって、土や木とかがあるところだと、それに近い色の茶色っぽい模様が出てくるんだよ」と簡単に説明すると教室の床の上において、色が変わるのを観察して、感激している子もいた。

○単元設定の理由

本単元は、学習指導要領『生活』の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定したものである。

自分が大切にされている、尊重されていると感じることができない子どもたちが多いためか、自分の持ち物も大切にできない子が目立つ。そういった子にも、栽培活動を通して、自分が世話をしないと枯れてしまうという責任感を感じさせ、実ったことへの喜びを味あわせたい。また、単元の流れの中に、個人思考(りりこの観察やトマト料理について家で調べてくるなど)はもちろん、グループ思考(トマトについて、グループごとに調べ学習しまとめるなど)もたくさん取り入れ、友達や先生などたくさんの人にほめられたり、認められたりする場をつくっていき、学習への充実感や満足感にもつなげられればと考え本単元を設定した。

○指導にあたって

野菜嫌いの子も多く、一口食べるのが精一杯ということがよくある。そこで、栽培活動と、その後、収穫して食べることへとつなげるために、朝のチャレンジタイムや図書の時間などに『もったいないばあさん』シリーズや『やさいのおしゃべり』という絵本の読み聞かせなども行った。主な内容は、お残しはいけないよ、野菜も命があつて、それをもらって人間はいきているんだよ、食べ物は好き嫌いせずに大切に食べないといけないよ、といったものである。

家庭環境に問題のある子も多く、そうでない子たちにとっても、保護者との関わりは大切だと考えているため、野菜を使った料理調べでは、お母さんやおばあちゃんに質問するように促した。今後は、トマトや他の野菜を使って、学校で簡単な調理実習を行い、それを家庭で保護者と一緒に再

現するなどの機会も設けていきたい。

さらに、毎日食べている給食や家庭での食事についても、どんな野菜が入っているのか、作ってくれている人の気持ちはどうかなどを考えながら、食事を楽しめるようになればと考えている。

みつけたカードについては、何回か観察する中で、五感を使って観察し、それを文章にすることにもずいぶん慣れてきた。国語の「かんさつ名人になろう」という単元もあり、観察日記への書き方にも工夫がみられるようになった。うまく書けているものや工夫されている表現のものは、みんなの前で読んで紹介しながら、どんなふうに行けばいいのかわ、子どもたちに共通理解を図り、【～みたいな・～ぐらい・～とちがって・～似ていて・～と同じで・～のような・～っぽい】などの表現を使うよう毎回話している。その他にも、てのひら1つ分、卵2つ分や〇〇cmといった大きさや長さを表す表現も使えるようになってきている。

みつけたカードには、3枚目あたりから、「目（見ため）・鼻（におい）・手（感触）・耳（音）・口（味）・電球（数や大きさ・長さ等数値的なもの）」の6つのマークをつけて赤線を引いて、コメントをつけて返している。耳と口のマークは、今のところあまりないが、それ以外の4つについては、子どもたちにも浸透し「僕、4種類ともマーク付いてるよ！」「いっぱい線引いてくれてる！」と友達同士で見せ合う姿も見られるようになってきた。慣れてくれば、子どもたち自身が、6つのマークを自分で探し、書いていけるようにしていきたいと思っている。

また、観察を続けているうちに、「トマトって最初はみどりやのになんで赤くなるのかなあ」「黄色いトマトもあるよ、先生！」など、子どもたちの興味が少しずつ広がっているのを感じた。そこで、子どもたちに、いつが1番おいしいのか、どんなふうで育つのか、種類や栄養、どんな料理があるのかなど、多様な課題を見つけて興味を持ってほしいと考え、「トマトのことをもっと調べてみない？」と投げかけ、たくさんの資料を用意し、調べ学習を始めた。

普段から、自分でもできた、みんなと頑張れた、友達と一緒に勉強するのって楽しいなど思えるような授業を心がけている。しかし、2年生という発達段階と学級の様子を含めて、子どもたち同士の意見や感想がたくさん出るような授業は、現段階では難しいと感じる。そのため、本単元では、マイテーマに掲げる「友達と関わりながら学習し、自分に自信を持てる子」の「友達と関わる」という部分について特に力を入れることに重きをおいた。学習発表までのグループごとの工夫や練習が、友達や自分の頑張りがよさに気づき、それを認め合う場になればと考えている。そして、学習の場で「友達と関わる」という経験を2学期、3学期とつなげていく中で、自分は必要な人間であり、友達にも大切にされている、認められているということに気づかせ、「自分に自信を持てる子」というマイテーマにつなげていきたい。

7.指導計画（全22時間）

学習活動と栽培活動		
第1次	トマトはかせになろう（6時間）	夏野菜を育てよう（9時間＋常時活動）
	○トマトについての子ども向けの絵本や図鑑を1人1冊以上もたせ、興味のある部分を生活ノートに書き出す。（1）	○夏野菜を植えよう（1） ○りりこを植えよう（1）

	<p>○各自調べたことをもとにトマトについてもっと知りたいことを発表する (1)</p> <p>○トマトはかせになろう! (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな種類があるかな? ・ミニトマトと大玉トマトの違いは? ・どんなトマト料理があるかな? ・トマトの栄養って? ・くき、は、花、み について調べたら… ・トマトのれきし・・・ 	<p>○りりこの観察をしよう (2+常時活動)</p> <p>○夏野菜を観察しよう (3+常時活動)</p> <p>○夏野菜を収穫しよう (常時活動)</p> <p>○夏野菜を使った調理実習をしよう (常時活動)</p> <p>○りりこを収穫しよう (常時活動)</p> <p>○りりこを使った調理実習をしよう (2)</p>
第2次	<p>トマトのひみつを伝えよう (5時間)</p> <p>○グループ別に発表のしかたを考えて練習しよう (3)</p> <p>○クラスみんなに伝えよう (4/5本時)</p> <p>○おうちの人にも伝えよう (1・参観)</p>	
第3次	<p>他の野菜も調べてみよう (2時間)</p> <p>○トマトのように『み』を食べる野菜や『み』以外を食べられる野菜はどんなものがあるかみつけよう (1)</p> <p>○トマト以外の野菜のお料理を調べて、発表してみよう (1)</p>	

8.本時までの活動

4月22日・・・夏野菜とりりこの苗を植える。



これってきゅうりなんや〜。

トマトきれいなんやけどな…。



ねっこがいっぱいや〜!!
すごいー!

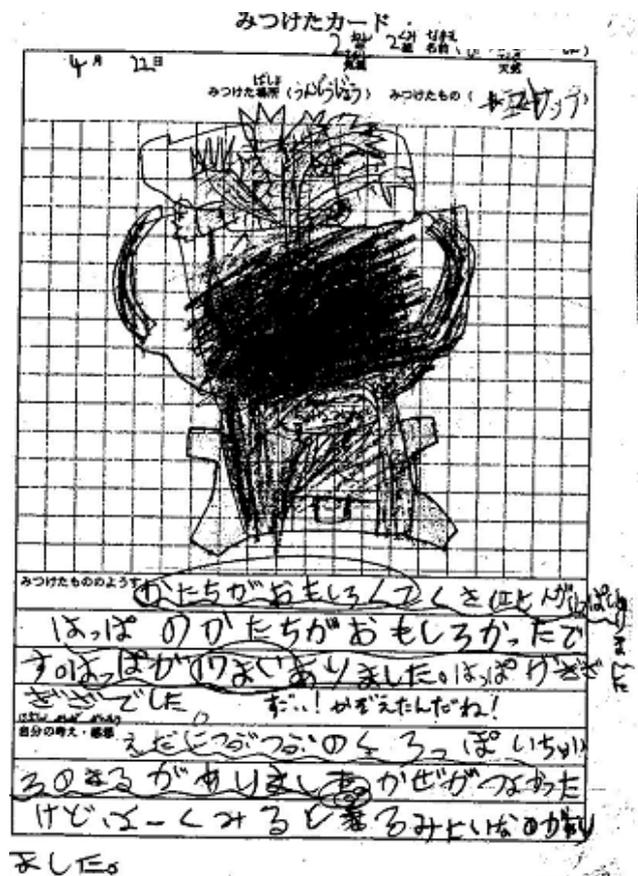
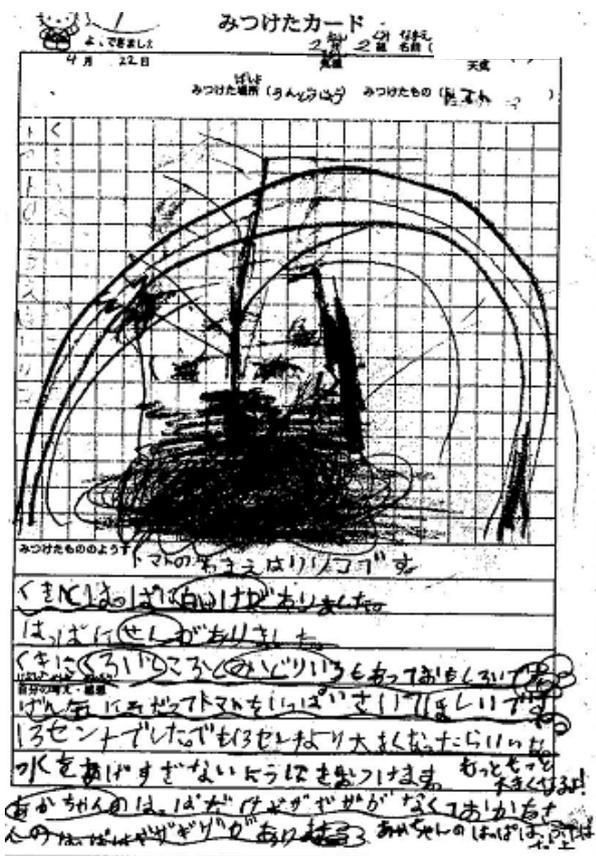


りりこの観察①



通常より、たくさんの土を入れることで、少しでも苗の生育を助けられるということだったので、牛乳パック3つ分を使い、盛り土をしてそこに苗を植えた。

KAGOMEから提供してもらった、「りりこ」という品種のトマトを1人1株もらい、植木鉢に植えた。自分のトマトという感じがするためか、どの子も嬉しそうに初めての観察を行った。中には、トマトが苦手で、食べられない子もいるため、最初は、栽培活動にも消極的だったが、観察して知らなかったことを発見できた時や自分の手で植えたことがきっかけになり、以後積極的に観察できる子も増えた。初回の観察では、トマトの茎や葉に白い産毛のようなものが無数に生えていることに気づき、面白がっていた。また、たくさんの葉脈があることにも気づいたり、においをかいでみたりする子が出てきた。



5月7日・・・夏野菜の観察①



ピーマンの花のつぼみができていた。つぼみの色から、花は、白っぽいのかな？と子どもたちは予想していた。



トマトの花は、すでに咲いていて、黄色だー！花が咲いてるーと興味津々だった。

トマトとちがって、はっぱつるや～！！毛もない。



この時点では、ナスとキュウリには、大きな変化はなく、少したけが大きくなった程度で、つぼみらしきものはついていなかった。

みつけたカード お名前 年齢 性別 天候

5月 7日

みつけた場所 (ミズウシ) お名前 年齢 性別 天候

みつけたもの (なすび)

みつけたもののようす

なすびのくきのいろはむらさきでした。
 はっぱはよつとみんなかたじけなく
 いろはみどりでした。(ふかふか) きれい
 毛がはえていました。あまりにきれいでした。
 自分の考え・感想 ちよとかわってかたじけなく
 きれいな色にみずやりとますぐすも
 5P~とぬくまがたまりました。毛や針が刺さる
 書いてみるね!!

みつけたカード お名前 年齢 性別 天候

5月 7日

みつけた場所 (りんご園) お名前 年齢 性別 天候

みつけたもの (トマト)

みつけたもののようす

くまに白いものがついていました。
 はっぱがギザギザおもしろかったです。
 かまきりやいろいろな虫がいました。
 (おば)にせんがありました。
 つぼみはみずいやくとにさいやみがおていさ
 つぼみがたがって花の色はなにが
 たのしみです。????????????????
 白い花の花にむらさき色

などが出てきた。

6つの班で、それぞれグループごとに違う項目を調べさせたかったので、こちら側から意図的に少し選択肢を増やした。「トマトのれきしなんかを調べても面白いよ」などの声をかけた。

結局、子どもたちに班で話し合わせ、興味のある項目を選ばせた。1番人気があったのは、『トマトの種類』で、いくつかの班が、じゃんけんをした。その後、それぞれの項目に収まり、結局以下のように決まった。

- 1班・・・トマトの種類
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実
- 3班・・・トマト料理
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い
- 5班・・・トマトのなかみ（ここでは、トマトの栄養もふくめようか、となった）
- 6班・・・トマトのれきし

6月11日・・・グループごとに調べて、まとめる①（2時間）

個人で調べていたものが、班での発表の内容とそぐわない子もいるので、再度、その班に合った本（調べるとよさそうなページに班の番号を書いた付箋をはっておいた）をわたし、詳しく調べさせた。また、調べたことを全員で共有し、発表の仕方を考えさせた。発表の仕方については、漠然と決めさせても、わからないようなので、「劇とか、紙芝居とか、そういう発表でもいいよ」といくつか提案しておいた。

トマトの種類を調べる班には、種類がたくさんあるため、模造紙に書いたら？と助言し、大きめに切った模造紙を与えた。すると自分たちで、考えながら大きな字で書いて、種類や色なども書きこんでまとめ始めた。トマト料理の班は、女子2人が、「何かお料理してみたいな」というので、「もし、発表までにできるなら、調べたお料理の簡単なものをおうちで作ってみて、それを発表してもいいよ」と声をかけると、保護者と相談してみるということだった。普通のトマト（大玉トマトのこと）とミニトマトの違いを比べる班は、中身を見て、種の数や大きさをくらべたいとのことだったので、準備しておいたトマトをその場で切って、中の様子を比べたり、種を数えたりさせた。子どもたちは、種の数の多さや大きさなど予想しており、結果と予想の違いも楽しんでいた。

また、全体にいろいろな種類のトマトを実際に見せておきたかったので、事前にいくつかのトマトを用意して、観察できるようにして、自由にさせた。（ミニトマト3種類・中玉・大玉トマト各1種類）

- 1班・・・トマトの種類（表にまとめて発表）
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実（それぞれの担当を決めて、絵と文で紙芝居形式にして発表）
- 3班・・・トマト料理（ペープサートをつかったの発表）
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い（ペープサートをつかったの発表）
- 5班・・・トマトのなかみ（栄養）（紙芝居にしたい子と劇がいいという子でもめたまま終了）
- 6班・・・トマトのれきし（なりきりトマト劇）

6月12日・・・グループごとに調べて、まとめる②（2時間）

ある程度調べられてきたので、まとめさせていった。同時進行で、発表の仕方を決めさせ、できたところから練習に入っていた。調べたものがまとまり、発表の練習が進むにつれて、それぞれの班に工夫がみられるようになってきた。

- 1班・・・トマトの種類（表にまとめて発表） → トマトのイラストも描き始めた。
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実（それぞれの担当を決めて、絵と文で紙芝居形式にして発表）
- 3班・・・トマト料理（ペープサートをつかったの発表）
→ クラスのみんなが調べたお料理を1つずつ紹介するコーナーを追加した。
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い（ペープサートをつかったの発表）
→ トマトクイズを追加した。
- 5班・・・トマトのなかみ（栄養）（ペープサートと劇）
- 6班・・・トマトのれきし（なりきりトマト劇） → ○×クイズを追加した。

第2次

6月13日・・・発表の練習①（1時間）

- 1班・・・トマトの種類（表にまとめて発表） → 担当を決めて練習できてきた。
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実（それぞれの担当を決めて、絵と文で紙芝居形式にして発表）
→ まだ、練習までたどりつかない。
- 3班・・・トマト料理（ペープサートをつかったの発表）
→ 役割分担し、ある程度形になってきた。
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い（ペープサートをつかったの発表）
→ 役割分担し、ある程度形になってきた。
- 5班・・・トマトのなかみ（栄養）（ペープサートと劇）
→ 担当を決めて練習できてきた。
- 6班・・・トマトのれきし（なりきりトマト劇） → 担当を決めて練習できてきた。

6月17日・・・発表の練習②（1時間）

本番の臨場感を味あわせるため2年1組のみんなの前で発表させた。緊張と練習不足でほとんどの子が声が小さくなり、予想以上に決めていたセリフや言葉を忘れてしまっていた。発表の順番は、練習での様子や児童の実態を踏まえて、担任が決めた。

- 1班・・・トマトの種類（表にまとめて発表）
- 3班・・・トマト料理（ペープサートをつかったの発表）

- 6班・・・トマトのれきし（なりきりトマト劇）
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実
- 5班・・・トマトのなかみ（栄養）

発表後、ブロックの先生方の意見を聞いて、発表の順を以下のように訂正した。

- 6班・・・トマトのれきし（なりきりトマト劇）
- 1班・・・トマトの種類（表にまとめて発表）
- 2班・・・トマトの 葉・茎・花・実
- 4班・・・普通のトマトとミニトマトの違い
- 3班・・・トマト料理（ペープサートをつかったの発表）
- 5班・・・トマトのなかみ（栄養）

6月18日・・・発表の練習③（1時間）

各班ごとに最終の練習を行い、一班ずつの練習も行った。また、内容は、当日までお互いに見せ合いたくなかったので、最初と終わりの挨拶をして、授業の流れをつかむ練習もした。

9. 本時の学習

(1) 目標

- ・自分なりのめあてをもち、トマトのひみつについてみんなに伝えることができる。
- ・友達の発表の良いところや頑張ったところを見つけることができる。

(2) 展開

学習活動	予想される子どもの考え・活動	★支援 ◎評価
<p>① 本時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりのめあてを確認する。 ・花丸・◎・○について確認し、グループごとの感想はかける範囲でよい事を知る。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>トマトの ひみつ みつけた！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・数名にめあてを発表させる。 「大きな声でいいたいです。」 「はずかしがらずにやりたいです。」 「友達の発表を静かに聞きたいです」 	<ul style="list-style-type: none"> ★前時までに各自めあてを書かせておく。 ★○のつけ方の確認をしておく。書ける人は、一言感想を書くことを伝える。

<p>② トマトのひみつを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6班 トマトのれきし ・ 1班 トマトの種類 ・ 2班 葉・茎・花・実 ・ 4班 普通のトマトとミニトマトの違い ・ 3班 トマト料理 ・ 5班 トマトのなかみ 	<ul style="list-style-type: none"> → (なりきりトマト劇) +クイズ → (表にまとめて発表) → (ペープサート) → (ペープサート) +クイズ → (紙芝居形式) → (ペープサート) 	<p>★表の掲示や発表が終わったあとのペープサートやイラストを黒板に貼っていく。</p> <p>★各グループの準備を手伝う。</p> <p>◎友達の発表を楽しんで聞いているか。 (関・意/態度・つぶやき)</p>
<p>③ 友達の発表や自分の発表の感想を言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな種類があった」 ・「劇が面白かった」 ・「声が大きくてわかりやすかった」 ・「劇が面白くてわかりやすかった」 	<p>★意見の言える子を数名あて、どんなことを言えばいいか、書けばいいかを把握させる。</p>
<p>④ 感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表について、めあてどおり頑張ることができたか、感想を書く。印象に残った友達の発表や良かった点なども書く。 ・「練習より声が小さくなった」 ・「緊張したけど、上手に言えました」 ・「クイズが面白かった」 ・「お料理をしてみたいと思った」 ・「絵がうまくて、見やすかった」 	<p>★書くことが思い当たらない児童には、自分の発表はめあてどおりできたかなど、声をかける。</p> <p>◎自分や友達の発表の良かったところや頑張ったところなどが書けているか。 (気づき/カード・つぶやき)</p>